

東海再処理施設の廃止措置の実績（平成30年度下半期分）

1. 廃止措置の実績の概要

(1) 廃止措置の進捗状況

廃止措置計画に基づき、下記項目等について実施。

平成30年度上半期(実績)	平成30年度下半期(実績)	平成31年度上半期(計画)
新規基準を踏まえた安全性向上対策		
・施設全体の安全対策に係る設計 ・許認可手続き(原申請の補正)	・施設全体の安全対策に係る設計 ・許認可手続き(基準地震動、安全対策等)	・施設全体の安全対策に係る設計 ・許認可手続き(安全対策の詳細)
高放射性廃液のガラス固化処理		
・施設整備(両腕型マニピュレータの更新等)	・ガラス溶融炉内残留ガラス除去 ・工程制御装置等の更新 ・許認可手続き(保管能力増強等)	・ガラス固化処理(50本) ・工程制御装置等の更新
高放射性固体廃棄物の取出し/再貯蔵		
・取出建家及び貯蔵施設(HWTF-1)の設計 ・廃棄物取出し装置の製作設計	・取出建家及び貯蔵施設(HWTF-1)の設計 ・廃棄物取出し装置の製作設計	・取出建家及び貯蔵施設(HWTF-1)の設計 ・廃棄物取出し装置の製作設計
低放射性廃液のセメント固化		
・施設のコールド試験 ・セメント混練試験	・施設のコールド試験 ・セメント混練試験 ・許認可手続き(セメント固化設備等)	・施設のコールド試験 ・セメント混練試験

(2) 技術開発の実績

高放射性廃液のガラス固化技術の高度化に係る研究開発として、溶融炉の安定運転に影響を及ぼす白金族元素の炉内への堆積対策を講じた新型溶融炉の施工設計を当初計画通りに実施。

(3) 東海再処理施設に係る予算額

平成30年度：約149億円 平成31年度：約178億円

(4) トラブル

日付	件名	法令報告	対応状況
平成30年10月29日	1号ボイラーの水位低下	—	平成30年11月に水管の施栓処置終了
平成30年11月7日	プルトニウム転換技術開発施設におけるグローブボックス下部(角部)の汚染確認	—	平成30年12月に汚染箇所 の除染終了
平成31年2月21日	廃棄物処理場の換気設備の一時的な全停止	—	平成31年2月に遮断器の 駆動系部品交換後、通常の 換気状態に復旧
平成31年3月27日	ガラス固化技術開発施設 冷水ポンプ(G84P32)の一時停止	—	平成31年4月にポンプ起 動停止スイッチの交換終了

(5) 廃止措置計画変更認可申請・認可の実績（別紙参照）

①原子力規制委員会への東海再処理施設の廃止措置計画の変更認可申請：10件

②原子力規制委員会による東海再処理施設の廃止措置計画の変更認可：3件

※原子力規制委員会の東海再処理施設等安全監視チーム会合（5回）

2. 廃止措置の実施体制

(1) 人員体制

約 720 名、うち自社員は約 230 名（平成 31 年 3 月末現在）

(2) 教育訓練の実績

教育訓練の名称	訓練対象者の種類 及び対象人数（延）	教育訓練の内容
1. 新たに放射線業務従事者に 指定する者の教育訓練	（自社員） 5 名 （自社員外） 33 名	関係法令、研究所規定、作業基準等、施設 概要、放射性物質取扱、放射線管理全般、 緊急時の措置、出入管理、臨界安全管理等
2. 放射線業務従事者教育訓練	（自社員） 5,703 名 （自社員外） 9,122 名	
3. 防災訓練・保安等教育訓練	（自社員） 1,571 名 （自社員外） 2,906 名	火災発生時対応、通報連絡、緊急時モニタ リング、緊急時対応、防護具着脱装、身体 除染、臨界事故対応、総合防災等

3. 放射性廃棄物の保管量（平成 31 年 3 月末現在）

放射性廃棄物の種類		保管量	前回報告 からの増減	保管能力
放射性液体廃棄物	高放射性廃液	約 357 m ³	—	870 m ³
	低放射性濃縮廃液※ ¹	約 3,128 m ³	—	4,550 m ³
	廃溶媒	約 108 m ³	—	160 m ³
	スラッジ	約 1,161 m ³	—	3,110 m ³
	リン酸廃液	約 17 m ³	—	20 m ³
放射性固体廃棄物	ガラス固化体※ ²	309 本	—	420 本
	高放射性固体廃棄物※ ³	約 6,787 本	—	10,320 本
	低放射性固体廃棄物※ ³	約 76,601 本	—	92,140 本

※¹ アスファルト固化処理施設における処理前廃液（約 92 m³）含む

※² キャニスタ本数、 ※³ 200L ドラム缶換算

4. 廃止措置に係る広報実績

(1) プレスリリース等の実績

日付	件名
平成 30 年 11 月 2 日	日刊工業新聞「第 37 回 新たなる挑戦 国内初 再処理施設の廃止措置」
平成 30 年 11 月 9 日	再処理施設に係る廃止措置計画の変更認可の申請について（お知らせ）
平成 30 年 12 月 26 日	廃止措置実施方針（再処理施設）について
平成 31 年 1 月 28 日	高放射性固体廃棄物の遠隔取出し技術に係るワークショップの開催について
平成 31 年 3 月 20 日	再処理施設に係る廃止措置計画の変更認可の申請について（お知らせ）

(2) 各種フォーラム等の実績

日付	件名	開催地
平成 30 年 10 月 25 日	第 31 回原子力施設デコミッションング技術講座（RANDEC）	東京
平成 30 年 12 月 21 日	東海村原子力安全対策懇談会	東海村
平成 31 年 1 月 28～29 日	高放射性固体廃棄物の遠隔取出し技術に係るワークショップ	東海村
平成 31 年 2 月 12～14 日	東海再処理施設廃止措置に係る技術検討会議（仏国海外委員会議）	東海村
平成 31 年 2 月 22 日	JAEA-CEA 研究施設廃止措置ワークショップ	パリ
平成 31 年 2 月 28 日	第 13 回東海フォーラム	東海村

(3) 見学会の実績

見学者数：約 220 名（約 80 団体）

廃止措置計画変更認可申請・認可の実績

申請日【認可日】	件名	備考
平成 29 年 6 月 30 日 【平成 30 年 6 月 13 日】	廃止措置計画（原申請）※ ¹	
平成 30 年 10 月 10 日 【平成 30 年 11 月 30 日】	ガラス固化技術開発施設の工程制御装置等の更新等	設計・工事案件
平成 30 年 11 月 9 日	安全対策の検討に用いる基準地震動等※ ¹	
平成 30 年 11 月 9 日	ガラス固化技術開発施設におけるガラス固化体の保管能力増強等※ ¹ ※ ²	設計・工事案件 含む
平成 30 年 12 月 5 日 【平成 31 年 2 月 18 日】	ガラス固化技術開発施設の熔融炉制御盤等の更新等	設計・工事案件
平成 31 年 1 月 31 日 (平成 31 年 3 月 1 日補正) 【平成 31 年 3 月 29 日】	ガラス固化技術開発施設の熔融炉の間接加熱装置（予備品）の製作及び交換	設計・工事案件
平成 31 年 1 月 31 日	分離精製工場等の浄水配管の一部更新、ポンプの交換、排風機の電動機の交換、窓ガラスの交換等	設計・工事案件
平成 31 年 1 月 31 日	ガラス固化技術開発施設における放射線管理設備の更新	設計・工事案件
平成 31 年 3 月 20 日	アスファルト固化処理施設の浄水配管及び蒸気凝縮水配管の一部更新、第二アスファルト固化体貯蔵施設の水噴霧消火設備の一部更新	設計・工事案件
平成 31 年 3 月 20 日	性能維持施設や安全対策に係る記載の追加※ ¹	
平成 31 年 3 月 20 日	低放射性廃棄物処理技術開発施設(LWTF)における廃液の固化方法の変更等※ ¹	

※³※¹ 原子力安全協定に基づく同意を要する廃止措置計画※² 原子力安全協定に基づく事前了解を要する新增設等計画※³ 太枠内は平成 30 年度下半期分の実績